

お客様（お施主様）に満足してご使用いただくために、この取付設置説明書をよくお読みのうえ正しい取り付けをお願い致します。
配管工事はすべて建築基準法、水道法、各市区町村の条例規定に準じておこなってください。
※ビルトイン浄水器の取り付けには、部品をキッチンに取り付ける作業と配管工事（建設業・管工事業種）が必要です。
配管工事は関連する法令・規定に従って法的な資格者が実施しなければなりませんので、管工事業者へこの取付設置説明書を確実にお渡しいただき配管工事を依頼してください。
管工事業者（法的な資格者）に依頼する工事
・給水・給湯の一次側配管との接続および検査
上記以外の作業は、管工事業者（法的な資格者）以外でも可能です。

- AWJ501LK 型
- ・ AWJ501LKS/AWJ501LKSBS…センサー自動吐水
- ・ AWJ501LK…手動吐水

安全のために必ずお守りください

本体に同梱されている取扱説明書および保証書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れないように保管し、取り付け完了後お客様にお渡しください。

警告表示と注意表示の定義について	
この取付設置説明書記載の警告事項 ▲警告 、 △注意 の区別について	
▲警告	取り扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
△注意	取り扱いを誤った場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を示します。
その他お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区別し説明しています。 図の中や近くに具体的な行為が描かれています。	
	記号は禁止の行為であることを告げるものです。
	記号は強制（必ず実行してほしい）したり指示する内容を告げるものです。
※いずれの場合も重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。 正しい取り扱いや、点検に関する内容を次の表示で示します。	
要 点	正しい操作のしかたや点検のポイントを示します。

△注 意	
	吐水口、パイプ、本体ホースの各先端部に汚れた手で触らない。 清潔を維持しないと、ゴミの吐出や水あか発生などの原因になるおそれがあります。
	吐水口、パイプ、本体ホースの各先端部は床などに置かない。 内部にはごりやゴミなどが入り、吐水に混入したり水あかが発生する原因になります。
	器具に強い力や衝撃を与えない。 器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	配管部を凍結させない。 凍結により故障するだけでなく、水漏れによりキッチンや家屋が損傷します。 凍結のおそれがあるときは、浄水カートリッジを取り外す、少量の水を出しておく、配管に布を巻くなどして保温するなど凍結防止の工夫をしてください。
	センサー面を傷つけないようにする。 器具が破損したり、誤作動するおそれがあります。
	配管工事はすべて建築基準法、水道法、各市区町村の条例規定に準じておこなう。 配管は、水漏れのないよう確実におこなう。 水漏れが起こると、補償問題になるおそれがあります。 本器は、混合水栓および設備部材をセットで使用する。 混合水栓を、単独で 사용하지 てください。 湯水のブレードホースは曲げ半径 60mm 以上を確保する。 ホースが折れると亀裂や破損を起こし、水漏れなどの原因になります。 浄水、原水ホースは曲げ半径 50mm 以上を確保する。 ホースが折れると水が出なくなったり、水漏れなどの原因になります。 給水圧力が高いときは減圧弁で減圧する。 給水圧力が 0.74MPa を超えるときは、市販の減圧弁で適正圧力(0.20 ～ 0.49MPa 程度)に減圧してください。浄水カートリッジなどが割れ、水漏れするおそれがあります。 原水ホースは最後まで差し込み、ホースナットをしっかりと締め付ける。 水漏れの原因になるおそれがあります。 設置後、混合水栓を含む配管接続部全体の水漏れ点検を確実におこなう。 水漏れが起こると、補償問題になるおそれがあります。
	止水栓取り付け箇所や給水・給湯管との接続箇所は、点検口を設けるなど点検しやすい状態にする。 点検ができないと万一漏水発生時には発見が遅れて家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

▲警 告	
	飲用に合格した水（水道水など）以外には使用しない。 水中に溶け込んでいる溶解性の鉛、鉄、マンガンおよびアルミニウム（中性）以外の金属イオンやウイルスなどは浄化できませんので、飲用以外の水は体調を損なうおそれがあります。 井戸水は除去できない不純物混入のおそれがありますので、使用しない てください。
	湯水を逆に配管しない。 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。必ず給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
	給湯温度は 80℃より高温で使用しない。 80℃より高温で使用すると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らすおそれがあります。
	加工および接合、市販浄水器具の取り付けなどの改造はしない。 器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らすおそれがあります。
	電磁弁ユニットや配線接続部、ACアダプターには水をかけない。 火災や感電の原因になります。
	指定する電源（AC100V 50/60Hz）以外では使用しない。 火災の原因になります。
	濡れた手で ACアダプターを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	やけどのおそれのないところまで水圧変動をおさえた配管設備にする。 他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。
	ストレーナの清掃は止水栓で必ず湯水を止めてからおこなう。 また、湯側止水栓が熱くないことを確認すること。 湯水がふきだしてやけどをしたり、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	コンセントの設置は、電気設備技術基準または内線規定に従い、確実におこなう。 誤った電気工事は、感電または火災の原因になります。

△注 意	
	凍結のおそれのある場所には設置しない。 浄水カートリッジなどが凍結割れし、水漏れするおそれがあります。
	厚さが 30mm 以上ある天板には、穴開けをしない。 取り付けができません。穴を開けた場合に補償問題になるおそれがあります。
	ホース類を折り曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、挟み込んだりしない。 水漏れの原因になるおそれがあります。
	吐水口先端を、ホースなどで延長しない。 故障の原因になります。

1 商品の確認

取り付け開始前に商品の全部品が損傷なくそろっているか、確認してください。

同梱部品				
①混合水栓（1 本） ※ AWJ501LK の混合水栓は、右記 ②③④ の部品は組み込み済		②馬蹄座金		③ばね座金
				
		④プラグ		⑤締付工具 ※ AWJ501LK は同梱なし
				
⑥浄水カートリッジ（1 ケ）	⑦ブラケット（1 ケ）	⑧逆止弁付ジョイント（2 ケ）※パッキン付き	⑨ホースバンド（2 ケ）	⑩クランプ（1 ケ）
				
⑪タッピングネジ（φ4×14mm 6 本）		⑫両面テープ（1 枚）	⑬ジョイント A（1 ケ）	⑭ジョイント B（2 ケ）※パッキン付き
				
⑮ホースガイド A、B（各 1 ケ）		⑯ホース／ワンタッチジョイント（1 セット） ワンタッチジョイント 原水ホース（灰色 1.2m） 浄水ホース（白色 1.2m）		⑰カブラーユニット（1 ケ）
 ホースガイドA		 ホースガイドB		
 ホースガイドB		 通水試験用バイパス		
⑱ホースナット（2 ケ）	⑲クイックファスナー／保護キャップ（4 セット） ※ AWJ501LK は 3 セット	⑳電磁弁ユニット ※ AWJ501LK は同梱なし		㉑AC アダプター ※ AWJ501LK は同梱なし
 	   			
㉒ワイヤーステッカー（5 ケ） ※ AWJ501LK は同梱なし	㉓取扱説明書（お客様用）	㉔お客様登録カード	㉕取付設置説明書（設置業者様用）	㉖浄水カートリッジ 吊り下げ袋
   				

2 設置作業前の確認と準備

必ずお客様（お施主様）とご相談のうえ決めてください。

チェック欄	確 認 項 目	チェック欄	確 認 項 目
<input type="checkbox"/>	混合水栓取り付け位置の確認	<input type="checkbox"/>	浄水カートリッジ設置位置の確認

<p>昇降式のキャビネットがあるときは、可動部が接触しないことを確認し、混合水栓を設置してください。</p> <p>使用水压（A＝（給湯器の最低作動水压）＋（配管圧力損失）） （1）瞬間給湯器との組み合わせ（設定条件 水温：25℃ 給湯器温度調節：高温 吐水温度：42℃ ハンドル全開） （比例制御式）最低必要水压：A＋0.10MPa（動水压）、最高水压：0.75MPa（静水压） （2）貯湯式給湯器との組み合わせ （給湯・給水圧力）最低必要水压：A＋80.0kPa（動水压）、最高水压：0.75MPa（静水压）</p> <p>混合水栓レバーは全開で使用してください。 給湯器が着火しない場合があります。 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。 給水圧力が 0.3MPa から、0.75MPa までは止水栓で流量調整してください。 給水圧力が 0.74MPa を超えるときは、市販の減圧弁で 0.2MPa 程度に減圧してください。 給湯器の給湯温度は、安全のため 60℃給湯をおすすめします。</p> <p>本製品は改造（加工および接合、市販浄水器具の取り付け等）によるトラブルについては、保証の限りではありません。</p> <p>通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。</p>	<p>必ずお守りください</p>
---	------------------

コンセントの位置（AWJ501LKS/AWJ501LKSBS 対象）

コンセントは、図に示す範囲内で浄水カートリッジ脱着の際、邪魔にならない場所へ取り付けてください。

要 点：
シンク用ベースキャビネットによっては、範囲内に取り付けられない場合があります。

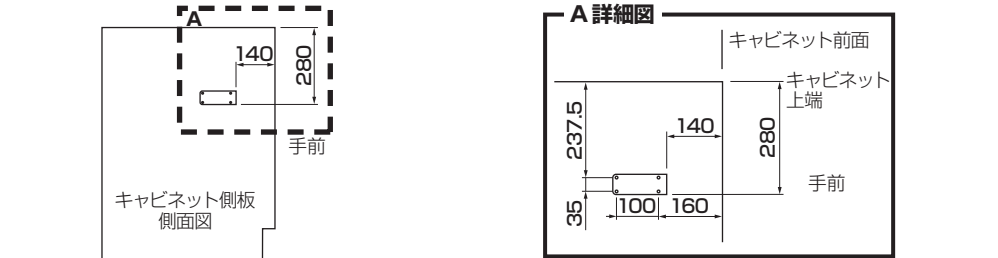
例）浄水カートリッジが脱着時にコンセントや電源プラグに干渉する場合。

このような場合は、水栓金具や他のオプション類と干渉しない場所を選んで設置してください。

チェック欄	確 認 項 目
<input type="checkbox"/>	コンセントはキャビネット庫内の 範囲内に設置

1. ブラケット取り付け位置

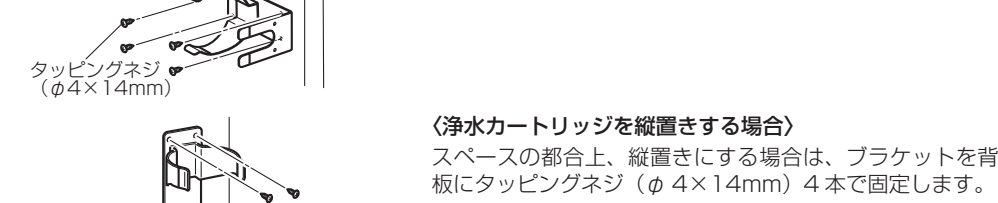
〈浄水カートリッジを横置きする場合〉



・ブラケットは水平に取り付けてください。（前後の高低差：5mm 以下）
・ブラケットの取り付け位置が製品ラベルと重なる場合は、ラベルと重ならないようにブラケットの位置を前後に調整してください。

2. 木質キャビネットに設置する場合（同梱のタッピングネジによる固定が可能です）

右側設置の場合
〈浄水カートリッジを横置きする場合〉
ブラケットを側板にタッピングネジ（φ 4×14mm）4 本で固定します。



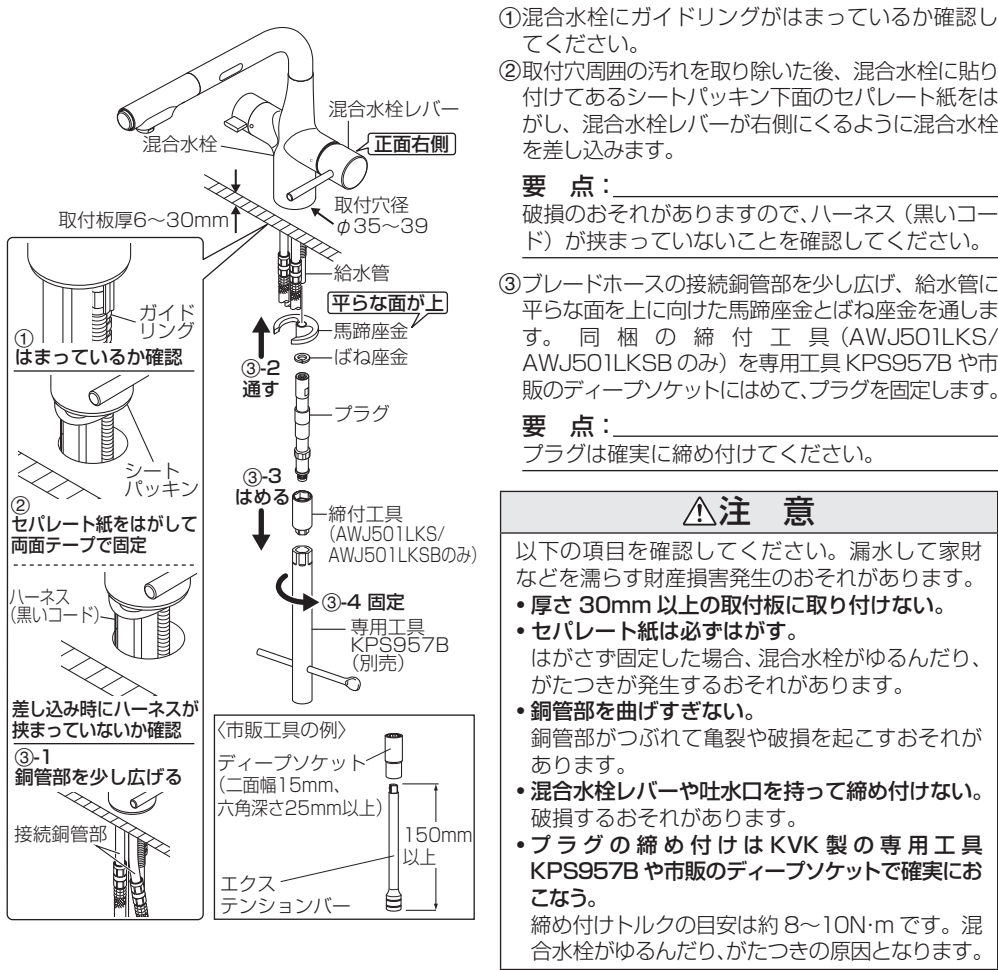
〈浄水カートリッジを縦置きする場合〉
スペースの都合上、縦置きにする場合は、ブラケットを背板にタッピングネジ（φ 4×14mm）4 本で固定します。

3. ステンレスキャビネットに設置する場合（同梱の両面テープによる固定が可能です）

右側設置の場合
背板に固定
・ブラケット背面部に、両面テープを貼り付けます。
・ブラケットを背板に沿わせ、裏面に貼り付けた両面テープで背板やステップに固定します。

△注 意	
シンクキャビネット点検口蓋上へブラケットを取り付ける場合は、キャビネットの側板へは取り付けない。 給水給湯管に干渉しカートリッジの取り付け、取り外しができなくなります。	

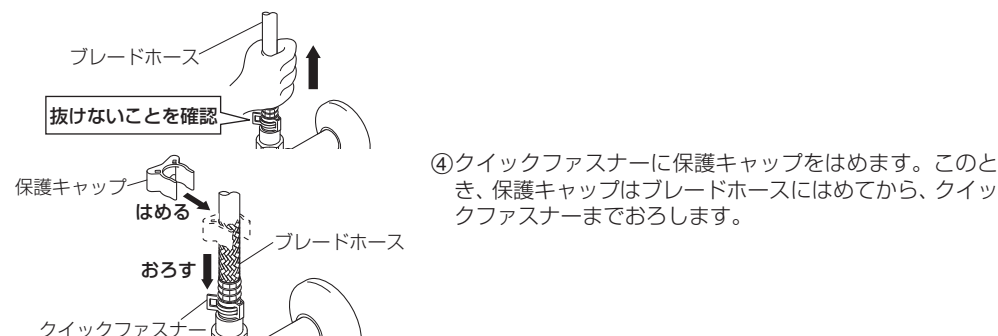
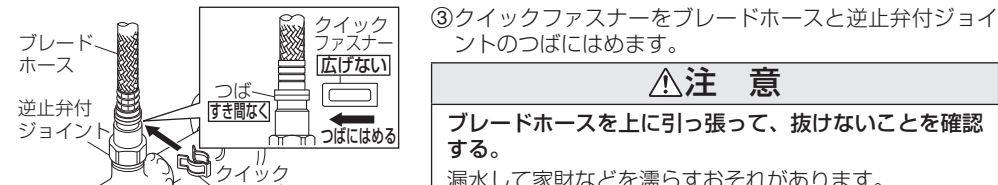
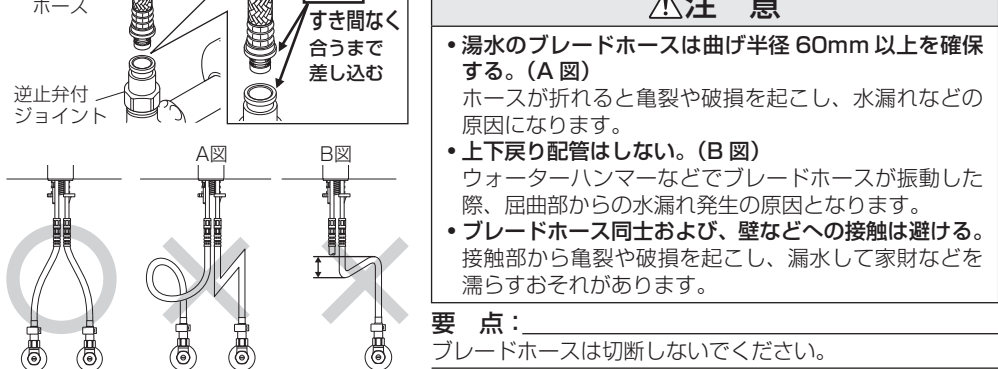
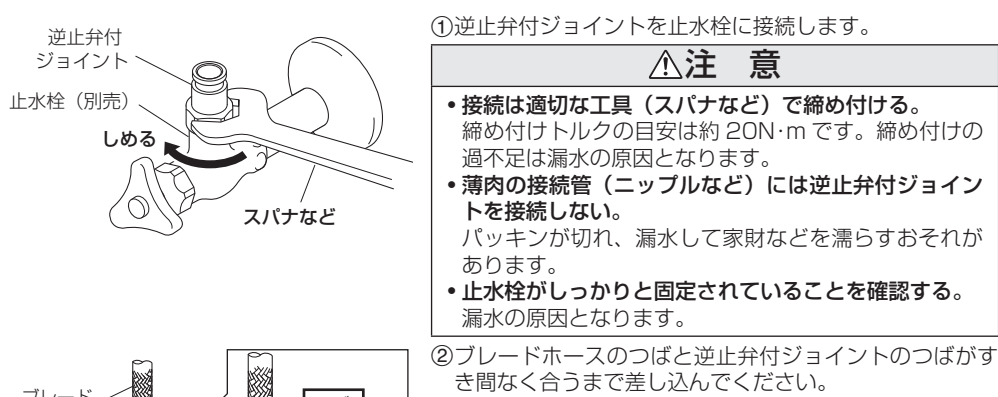
3 混合水栓の取り付け



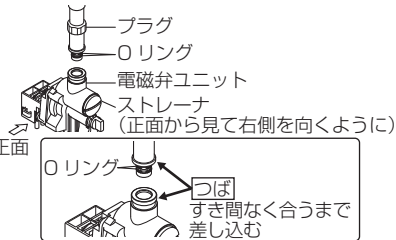
△注 意	
<ul style="list-style-type: none"> ・浄水カートリッジを仮置きし、各配管が確実に届くことを確認する。 無理な配管をおこないますと、水漏れ発生や水の出が悪くなったり、故障するおそれがあります。 ・ブラケットを仮置きし、扉や引き出しなどに干渉しないことを確認する。 <p>要 点： 以下の場合は、浄水カートリッジを側板に取り付けることができません。 ・浄水カートリッジと引き出しが干渉する場合 ・シンク下がオープンスペースの場合</p>	

5 配管

1. 止水栓との接続（全モデル共通）



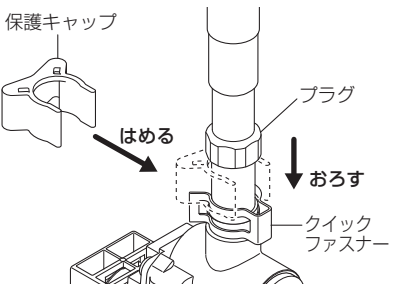
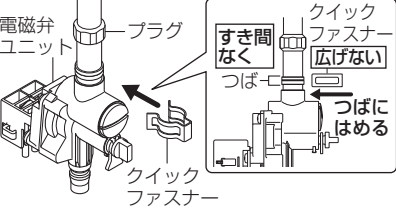
2. 電磁弁ユニットの取り付け (AWJ501LKS/AWJ501LKS B 対象)



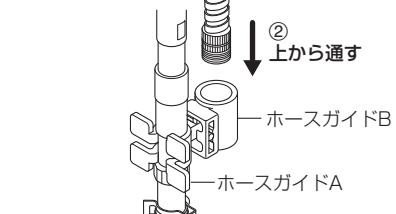
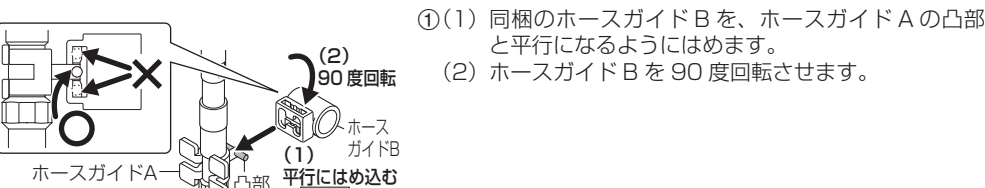
△注 意

①プラグのつばと電磁弁ユニットのつば（ストレーナが正面から見て右側を向くように）がすき間なく合うまで差し込みます。

プラグ先端のOリングに傷が付かないようにする。漏水のおそれがあります。

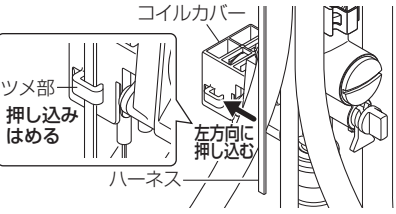
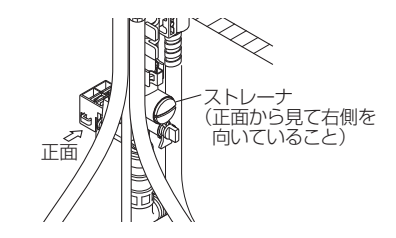
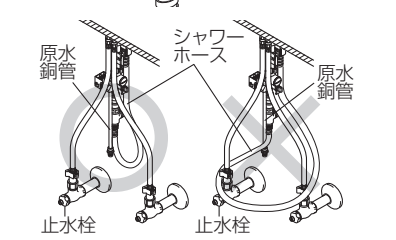
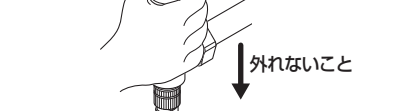
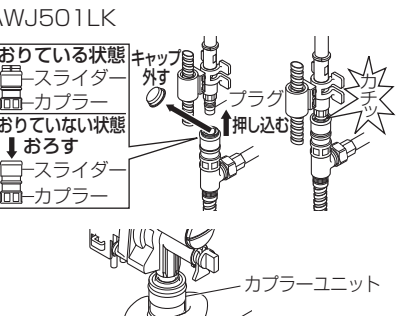
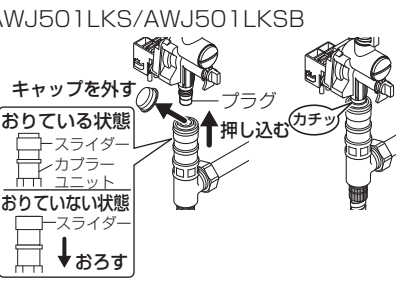


3. カブラーユニットの取り付け (全モデル共通)

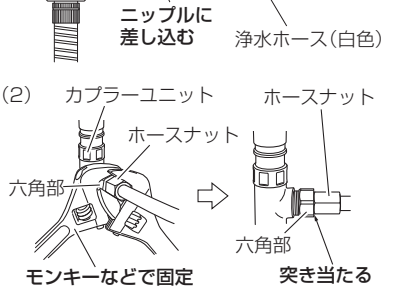
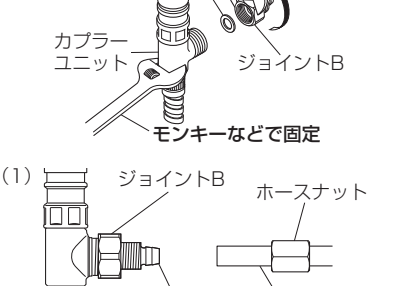
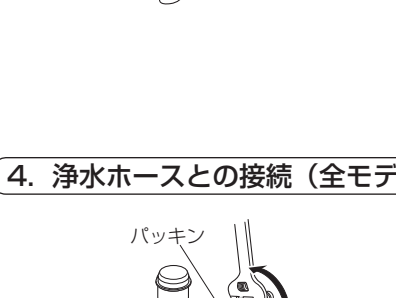
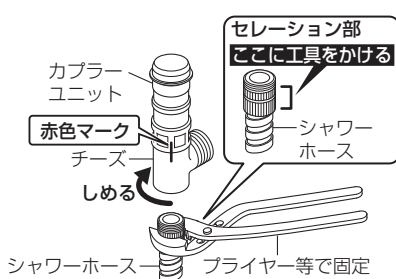
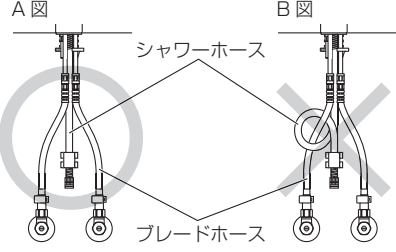


- 9 -

5. シャワーホースの接続 (全モデル共通)



- 11 -



△注 意

固定した際、シャワーホースをまっすぐ下げる。(A 図) B 図のように、ブレードホースを引っ掛けたり、ひねったりしないでください。シャワーホースが破損し漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

③チーズとカブラーの接続にゆるみがないか確認します(確認用の赤色マーク)。確認後、カブラーユニットとシャワーホースを接続します。

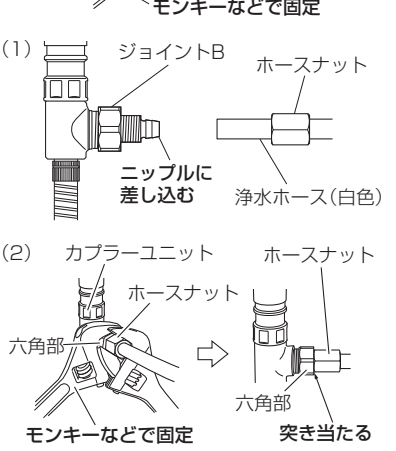
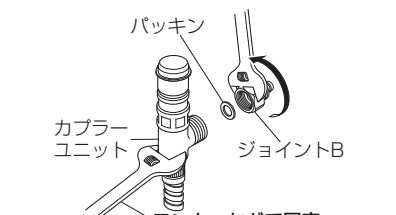
要 点：ゆるみがあるまたはカブラーユニット接続時は、手締めをし、さらに約 30 度増し締めしてください。(締め付けトルク目安約 1N・m)

△注 意

以下の項目を確認してください。漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ・カブラーの締め付け過不足
- ・シャワーホースのセレーション部以外に工具をかけない
- ・シャワーホースはねじらない

4. 浄水ホースとの接続 (全モデル共通)



①カブラーユニットにジョイント B を接続します。

△注 意

工具を必ず使用し、確実に締め付ける。締め付けトルクの目安は約 10N・m。締め付け不足や締め付けすぎると、水漏れします。

②ジョイント B に浄水ホース (白色) を接続します。(1) ジョイント B に浄水ホース (白色) を奥まで差し込みます。

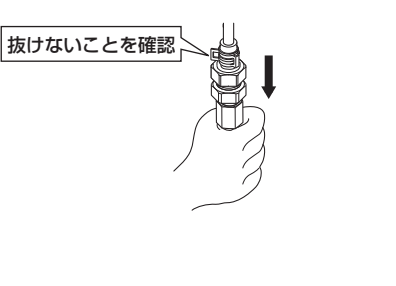
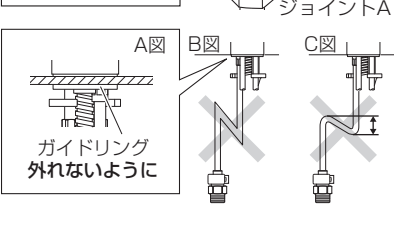
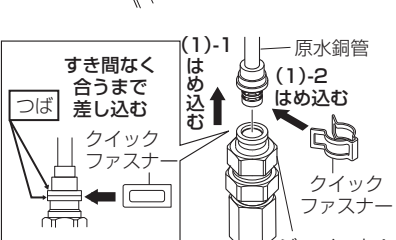
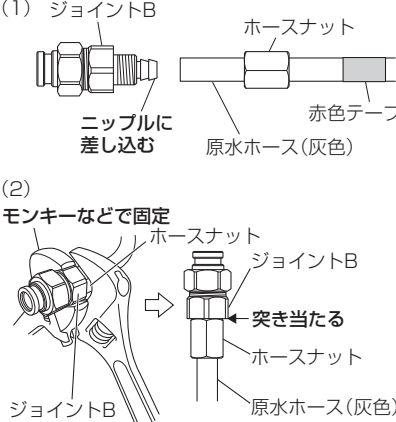
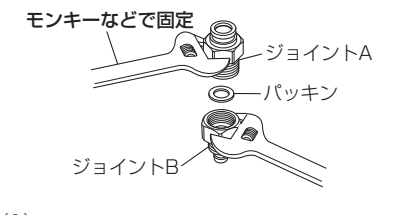
(2) ジョイント B の六角部をモンキーなどで固定し、ホースナットをジョイント B に突き当たるまで締め付けてください。

△注 意

工具を必ず使用し、確実に締め付ける。締め付け不良ですと、水漏れします。

- 10 -

6. 原水ホースとの接続 (全モデル共通)



①ジョイント A、B を接続します。

△注 意

工具を必ず使用し、確実に締め付ける。締め付けトルクの目安は約 10N・m。締め付け不足や締め付けすぎると、水漏れします。

②ジョイント B に原水ホース (灰色) を接続します。(1) ジョイント B に原水ホース (灰色) を奥まで差し込みます。

(2) ジョイント B の六角部をモンキーなどで固定し、ホースナットをジョイント B に突き当たるまで締め付けてください。

△注 意

工具を必ず使用し、確実に締め付ける。締め付け不良ですと、水漏れします。

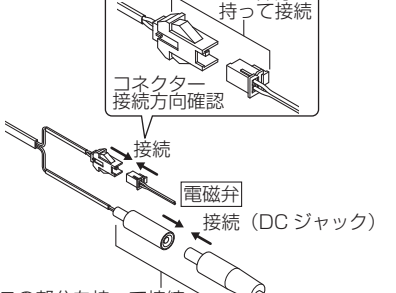
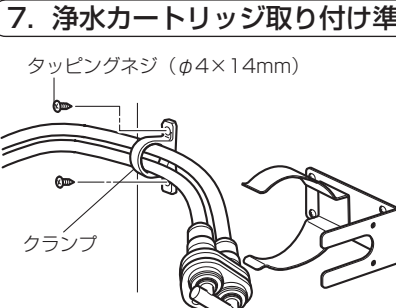
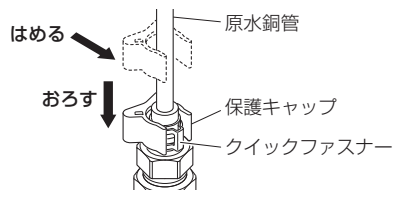
③ジョイント A を原水銅管に接続します。(1) ジョイント A を原水銅管にはめ込み、クイックファスナーを原水銅管とジョイント A にはめ込みます。(2) 原水銅管のつばとジョイント A のつばがすき間なく合うまで差し込んでください。(3) 原水銅管を曲げる際、ガイドリングが外れないように注意してください。(A 図)

△注 意

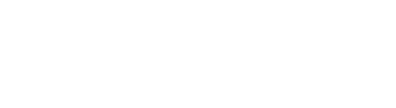
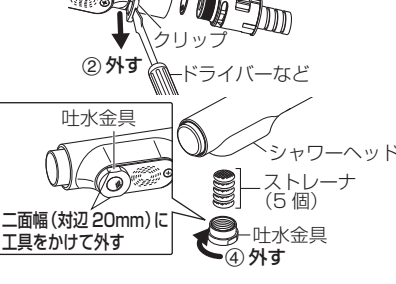
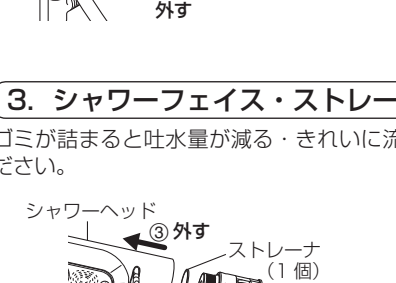
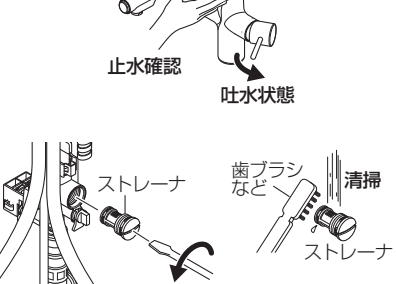
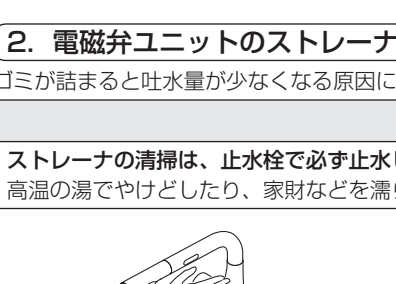
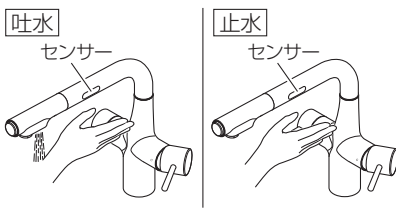
- ・原水銅管はなるべくゆるやかに曲げる。鋭角に曲げたり、混合水栓根元で曲げたりしないでください。(B 図) 亀裂や破損を起こし、水漏れなどの原因になるおそれがあります。
- ・上下戻り配管はしない。(C 図) ウォーターハンマーなどで原水銅管が振動した際、屈曲部からの水漏れ発生の原因となります。
- ・原水銅管はカットしない。

△注 意

原水ホースを下に引っ張って、抜けないことを確認する。漏水して家財などを濡らすおそれがあります。



- 13 -



④クイックファスナーに保護キャップをはめます。このとき、保護キャップは原水銅管にはめてから、クイックファスナーまでおろします。

7. 浄水カートリッジ取り付け準備 (全モデル共通)

浄水ホースと原水ホースの固定
同梱のホース固定用クランプに浄水ホースと原水ホースを通し、タッピングネジ (φ4×14mm) 2 本で固定してください。

△注 意

浄水カートリッジの取り付けができる位置まで浄水ホースがのびることを確認する。

要 点：

商品の取り付けからお客様への引渡しまで期間があるときは次のようにしてください。

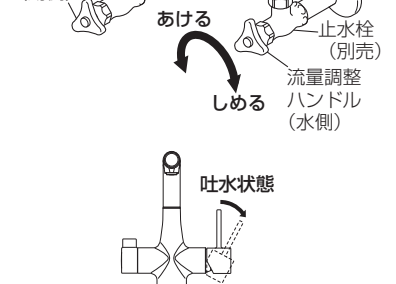
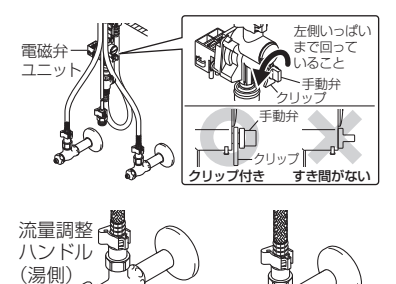
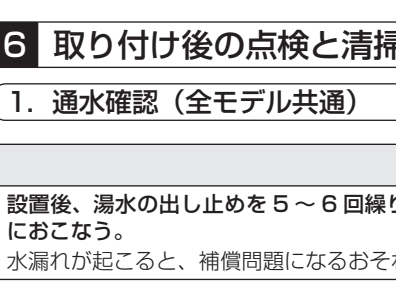
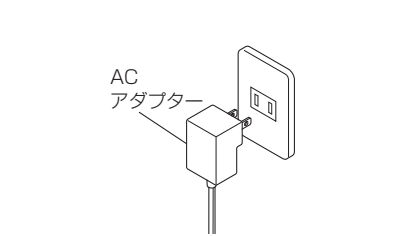
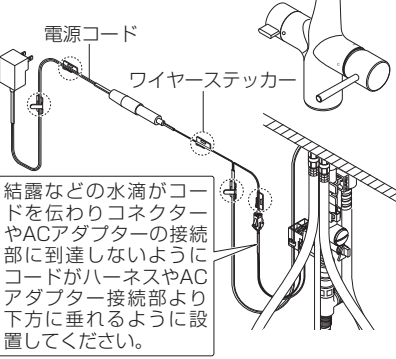
- ・浄水カートリッジ内の衛生性を保つために、通水試験用パイパスを取り付けた状態でワンタッチジョイントをブラケットに取り付けてください。
- ・浄水カートリッジは通水しないで浄水カートリッジ吊り下げ袋に入れ混合水栓にかけて、お客様に確実にお渡しください。

8. コネクターの接続と配線の固定 (AWJ501LKS/AWJ501LKS B 対象)

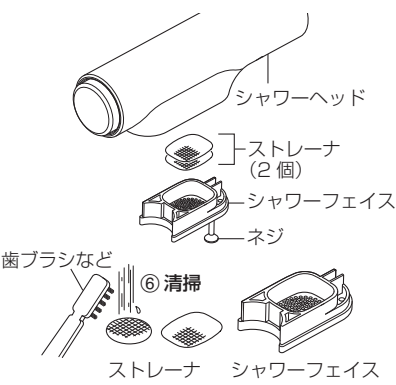
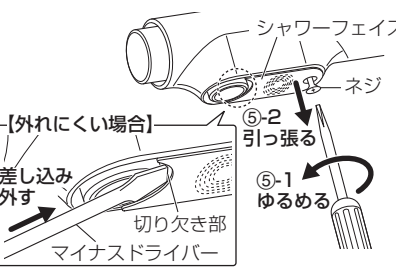
①電磁弁ユニットのコネクターと DC ジャックをそれぞれ接続します。

要 点：

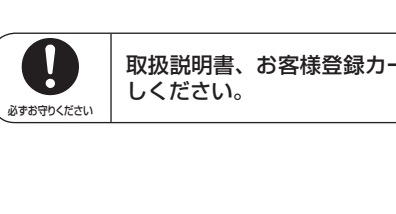
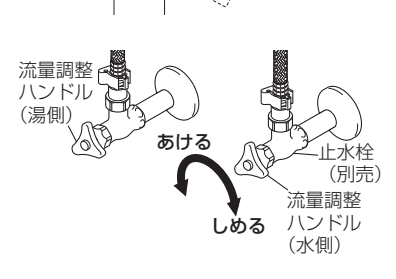
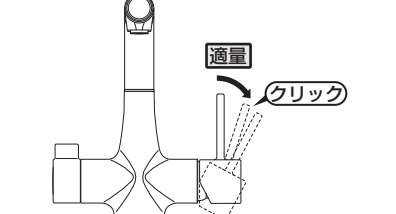
- ・コネクターの接続時は、コネクターを持って確実に差し込んでください。
- ・配線部が断線するおそれがありますので、配線部を引っ張らないように注意してください。



- 14 -



4. 止水栓による流量の調節方法 (全モデル共通)



②キャビネットの背板にワイヤーステッカーを取り付けます。

③ワイヤーステッカーでハーネスや電源コードを壁に固定します。

△注 意

コード類とブレードホース・シャワーホースなどが接触したり絡んだりしないようにすること。発火・ショート・感電の原因になります。

要 点：

ワイヤーステッカーは 5 個同梱していますので、必要に応じて固定してください。また電源コードは床につかないようにしてください。

④ACアダプターをコンセントに差し込んでください。

6 取り付け後の点検と清掃

1. 通水確認 (全モデル共通)

△注 意

設置後、湯水の出し止めに 5 ～ 6 回繰り返して、混合水栓を含む配管接続部全体の水漏れ点検を確実にこころう。水漏れが起ると、補償問題になるおそれがあります。

AWJ501LKS/AWJ501LKS B の場合
①AC アダプターが差し込まれていることを確認します。
②電磁弁ユニットの電動弁が左側いっぱいまで回っていることを確認します。

△注 意

電動弁は工具を使わずに手でゆっくりと操作すること。

③湯水の止水栓を開き、混合水栓レバーを吐水状態にします。

- 14 -

⑤シャワーフェイスのネジをゆるめ、ストレーナ (2 個) を取り外します。

要 点：

- ・ネジはシャワーフェイスから外れません。
- ・シャワーフェイスが外れにくい場合は、切り欠き部にマイナスドライバーを差し込みます。

⑥シャワーフェイス・ストレーナをブラシなどで水洗いします。清掃後、取り外しと逆の手順で組み立てます。

△注 意

吐水金具・ネジを締め付けすぎないように注意すること。破損や水漏れの原因となることがあります。

△注 意

施工が完了した後、必ず混合水栓レバーを閉じること。漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

要 点：

お客様がすぐに使用しない場合は、必ずコンセントから AC アダプターを抜いてください。(AWJ501LKS/AWJ501LKS B のみ)

トクラス株式会社

〒432-8001 静岡県浜松市西区西山町1370

2010_XFPW-28199-10-K0

- 15 -

- 12 -